

日本臨床検査専門医会

平成 22 年度第四回常任幹事会議事録

平成 22 年 12 月 17 日

平成 22 年度第四回常任幹事会議事録

日時：平成 22 年 12 月 17 日（金） 午後 3 時～午後 4 時 30 分

場所：日本臨床検査医学会事務所

出席者：渡辺 清明会長、渡邊 卓副会長、佐守 友博副会長、矢富 裕、村田 満、
山田 俊幸、東條 尚子各常任幹事、高木 康監事、木村 聡全国幹事（総数 11
名中 9 名出席）

欠席者：土屋 達行常任幹事、水口 國雄監事

事務局：藤本 梨恵

議事の審議内容及び議決の結果

司会の東條幹事が開会を宣し、3 分の 1 以上の出席を満たしていることが発表され、総会の定足数に準拠し本会議成立を確認の上、議長として渡辺会長を満場一致で選任。議長より挨拶の後、議案の審議に入った。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は本会の議事録署名人の選任を議場に諮ったところ満場一致をもって次のものを選任した。

議事録署名人 村田 満常任幹事、山田 俊幸常任幹事

第二号議案 会費未納者の対応について

議長は、会費未納者の現状について、その詳細を東條庶務・会計幹事に説明させた。3 年以内に未納分がある 165 名に対し、平成 22 年 10 月に会費納入の督促を行った結果、12 月 13 日現在で 73 名の納入があり、現在も入金は続いている。今後、4 年以上会費未納者（62 名）に対しても会費納入請求を行う予定である。会費未払い会員の退会等に関する明確な規定がないため、会費未納入者の扱いに関する方針について、これを議場に諮った。本件議案については、以下の意見があり、継続審議となった。

（高木 康監事）4 年以上会費未納入者には、現在、検査とは関係のない病院に異動になっている会員もいる。

（渡邊 卓副会長）A 会員は貴重な存在であり、個別に会費納入を依頼するようさらに努めることが望ましい。

（矢富 裕常任幹事）2 年以上会費を払わないと郵送物が停止となるが、JACLaP WIRE は送信してもよいのではないかと。WIRE を通じて有益な情報を提供することにより、会員継続のメリットを認識してもらうことができるし、会費納入依頼の連絡もできる。WIRE の末尾に

は、毎回、会費納入依頼が掲載されているが、時に、文頭で積極的にアピールしてはどうか。

(村田常任幹事) 活動を休止している会員を、新たに C 会員と位置付ける規約を作ってはどうか。

第三号議案 平成 23 年度第一回生涯教育講演会について

議長は、平成 23 年度第一回生涯教育講演会について、その詳細を山田教育研修委員長に説明させた。本講演会の対象は、会員ならびに専門医受験予定者とする。演題 2 題のうち 1 題をリスクマネジメントに関する講演とし、岩手医科大学附属病院 医療安全推進室長 (神経内科・老年科 准教授) 高橋 智先生を演者として依頼する予定である。また、日本臨床検査医学会が後援する学術講習会 (リスクマネジメントに関する講習会) の認定を受ける予定である。以上、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

記

開催日時：平成 23 年 6 月 10 日 (金) 午後 3 時～5 時

開催場所：アイーナ (いわて県民情報交流センター) 804AB

参加費：2,000 円

演 題：①検査室のリーダーシップ入門

昭和大学横浜市北部病院 木村 聡先生

②リスクに関する講演

岩手医科大学内科学神経内科・老年科分野 高橋 智先生 (予定)

以上

報告事項

1. 各種委員会報告

①情報・出版委員会

矢富委員長より、以下の活動報告があった。

Lab CP (28 巻 2 号) は、年内に発刊予定である。来年度の Lab CP 特集 (案) として、前回の常任幹事会で提案のあった Reversed CPC を検討する。土屋常任幹事、高木監事に協力をいただきたい。JACLAP NEWS には、検査専門医番号の若い先生から経歴紹介を執筆いただくことも検討中である。

(矢富委員長) 日本衛生検査所協会誌「ラボ」の掲載記事についてアドバイスを求められた事例があった。しかし、時間的余裕のない状況での依頼であったため十分な対応はできなかった。アドバイスを求められるのであれば、早い段階での依頼が望ましい。

(渡辺会長) 専門医会は、現在、「ラボ」に特集記事を連載しているが、それ以外の内

容についてはとくに関与をしていない。佐守副会長が日本衛生検査所協会の理事であるので、佐守副会長から日衛協の学術委員会に、掲載記事の内容に目を通すよう相談していただきたい。

②教育・研修委員会

山田委員長より、平成 23 年度の教育セミナーの開催予定について以下の報告があった。セミナー参加希望者に広く周知できるよう、ホームページ掲載に加え、日本臨床検査医学会からも情報提供してもらうよう、日本臨床検査医学会 専門医審議会に諮ることとした。

記

講義形式セミナー

開催日時：平成 23 年 4 月 23 日（土）

開催場所：順天堂大学

実習形式セミナー

開催日時：平成 23 年 5 月 8 日（日）

開催場所：自治医科大学

以上

③ 資格審査・会則改定委員会

（東條庶務・会計幹事）特になし

④ 渉外委員会

佐守委員長より、平成 23 年 7 月 22 日に開催予定の振興セミナーの企画について、渉外委員会で案を作り、平成 23 年度第一回の全国幹事会で諮る予定であるとの報告があった。

⑤ 保険点数委員会

渡辺委員長より以下の報告があった。平成 22 年 11 月 15 日、平成 22 年度第 3 回保険点数委員会（日本臨床検査医学会 臨床検査点数委員会と合同開催）において、内保連への平成 24 年度診療報酬改定の要望項目（案）を決めた。内保連の第 1 次要望書の締め切り（平成 22 年 12 月 10 日）までに、専門医会からは以下を要望項目として提出した。

記

1. 生理機能検査管理加算（未収載項目）
2. 血液採取（既収載項目）
3. 末梢血液像（既収載項目）
4. 尿沈渣顕微鏡検査およびフローサイトメトリー法による尿中有形成分測定（既収

載項目)

5. 染色体検査 (既記載項目)
6. 悪性腫瘍遺伝子検査 (既記載項目)
7. 時間外緊急院内管理加算 (既記載項目)
8. 血液細胞核酸増幅同検査、Major ber-abl mRNA 核酸増幅検査、免疫関連遺伝子再構成、WT 1 mRNA 核酸増幅検査、CK19mRNA、UDP グルクロン酸転移酵素遺伝子多型 (既記載項目)

以上

⑥ 専門医数増加方策検討 WG

木村 WG 委員長より、第 2 回 WG 会議 (平成 22 年 9 月 11 日開催) の説明があった。専門医をもっと知ってもらうために、専門医の活動内容をホームページで紹介、イベントグッズを作成し頒布、専門医配属によるコスト上のメリットの啓発などの提案があった。専門医受験予定者への対応として、試験問題の例題と解答集の作成、模擬試験の実施、超音波検査、感染症検査の研修機会を提供するなどの提案があった。また、意欲はあっても受験資格を取得できない医師への対策として、受験資格要件の緩和、施設要件の緩和、他学会の専門医取得者への優遇策の提案があった。

(高木監事) 日本臨床検査医学会の専門医試験は、筆記試験だけでなく、実地試験が行われていることが高く評価されている。施設要件基準については検討の余地があると思われる。

(渡邊 卓副会長) 多くの病院で、必ずしも検査業務に精通していない医師が検査部長を任されている現実がある。日本臨床検査専門医会で管理者としてのスキームを作って出し、検査管理の質が低下しないよう啓発につとめてはどうか。本来、これらの先生方には、検査専門医を取得してもらいたい。

(渡辺会長) この様な人達が専門医を取得できる様なスキーム案を専門医会で作成し、それを学会に提案してはいかがか。この点について、渡邊副会長を中心に検討してもらいたい。

⑦ 専門医広告啓発促進 WG

(村田 WG 委員長) 特になし

(2) 第 3 回臨床検査専門医審議会報告

東條庶務・会計幹事より、第 3 回日本臨床検査医学会 臨床検査専門医審議会 (平成 22 年 11 月 13 日開催) の報告があった。日本臨床検査専門医会が開催する生涯教育講演会 (平成 23 年 6 月 10 日予定) について、必修研修単位を取得できる講演会のひとつとして後援していただけるよう要望書を提出した。認定更新制度規定 4. (4) 日本臨床検査医学会が

主催または後援する学術講演会でのリスクマネジメントに関する講習会に 1 回以上参加すること（平成 22 年 11 月 13 日第 6 回改定）にてらし、リスクマネジメントに関する内容を含む講演会であることを前提に、後援を許可いただいた。

（3）第 21 回、第 22 回春季大会について

第 21 回春季大会（諏訪部 章会長）は予定通りで変更なし、第 22 回春季大会（日野田裕治会長）は準備中であり、開催日時、開催場所等の詳細は、平成 23 年度第一回全国幹事会（平成 23 年 1 月 21 日開催）に報告予定である。

（4）検体検査実施料に関するアンケート調査のお願い

渡辺会長から資料に基づき説明があった。臨床検査振興協議会では、平成 24 年度の診療報酬改定に向け、「検査の性能とその診療報酬への反映」をテーマに討議されている。これに関連して、「使用目的が同じで臨床的評価も同等であるが検査実施料の異なる検査」、「同じ検査実施料であるが性能の異なるものが市場に混在する検査」を把握する目的で、臨床検査振興協議会が実態調査を行うものであり、本会としても協力をする。

（5）日本臨床化学会 50 周年記念式典、記念シンポジウムについて

高木監事から資料に基づき、説明があった。ホームページならびに、JACLaP WIRE に案内を載せて参加を呼びかけることとした。

（6）平成 23 年度 年間行事予定について

東條庶務・会計幹事から平成 23 年度 年間行事予定の説明があった。なお、予定表については、本議事録の末尾に添付する（資料）。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 23 年 月 日

村田 満 _____ 印

平成 23 年 月 日

山田 俊幸 _____ 印